

## 467 発泡スチロールでできた防災住宅の開発・普及

| 取組主体【掲載年】                   | 法人番号          | 事業者の種類【業種】         | 実施地域 |
|-----------------------------|---------------|--------------------|------|
| ジャパンドームハウス株式会社<br>【平成 30 年】 | 7220001013633 | インフラ関連事業者<br>【建設業】 | 石川県  |

- 石川県のジャパンドームハウス株式会社では平成 16 年に発泡スチロールでできたドーム型の防災住宅を開発し、以降、の普及にあたっている。
- 同社は、丸く温かい家づくり（おまんじゅうのような家）の構想から、発泡スチロール成型を思いつき、既存の住宅と比べても耐震性に強い住宅を計画・設計し、約 6 年をかけ販売にまで至った。
- 同社の防災住宅は、建築物用に開発された強固な発泡スチロールを使用しドーム型の安定した構造とすることで、強震度の地震に対しても倒壊等の心配の少ない建物としている。
- 平成 28 年 4 月の熊本地震の際にも、阿蘇ファームランドに設置されていた同防災住宅は建物事態の損傷が無く、二次避難所としても活用された。また、同年 10 月の鳥取県中部地震の際、同防災住宅が採用されていた防災備蓄倉庫も損傷は無く活用を続けられた。

▲熊本地震発生後の阿蘇ファームランドにおけるドーム型の防災住宅